

## 子孫が語る芳賀権四郎（元横浜生糸検査所長）と三溪

講師：芳賀久雄様

9月の定例研究会では、芳賀久雄様をお招きしてご講話をいただきました。

芳賀権四郎＜慶応3（1867）～昭和23（1948）年＞は、大正8年から昭和11年まで横浜生糸検査所長を、昭和12年から昭和19年まで帝国蚕糸倉庫株式会社の取締役社長を務めました。講師の久雄様は権四郎の孫に当たり、弟の行雄様が当会会員の家族と知り合いだった縁からお招きすることができました。

権四郎は農商務省に勤める役人で、原富太郎は生糸商という立場の違いはありましたが、両者には交流がありました。権四郎が生糸検査所を退官した際、三溪富太郎から軸画や三溪画集をもらっています。

久雄様からは、権四郎ゆかりの写真や品々を実際に見せていただきながら話が進みました。その中の一つが、芳賀家に伝わる「記念帝國蠶絲株式会社大正十一年十二月 生絲罐詰模型」と記された小さな缶詰めの模型。生糸の保管のために帝国蚕糸が作った缶詰は、権四郎自身が提案したものだそうです。

権四郎は埼玉県岡部町（現在の深谷市）の出身です。正三位勲一等瑞宝章を受け、現在その勲章は岡部町に寄贈されています。岡部町にはシルクペプチド入りの「権四郎うどん」という特産品もあります。



たくさんのスライドを見せていただきました



几帳面に書かれた手帳からは、芳賀権四郎の性格が伝わります。